

博学 スポット

①

旧赤坂小学校

東京・港区

いつも感じることなのだが、現代美術の展覧会は作品の展示会場により、見る側の感動の幅も印象も大きく異なる。住宅事情の悪い東京のビルの一室に押し込められたものは、悲しいかな作品のスケールまで小さくみえてしまう。どこでみせるか、作家たちも空間を



考慮にいれているはずなのに、残念ながら海外で開催

された展示を東京にそのまま運ぶことは難しいと思

ろ。今回注目した交流展（二
十三日まで）は、子供たち
の声が聞こえなく
なったがらんどろ

の小学校が会場で、タイト
ルは「《根の回復》として
用意された《十二の環
境》」。会場では日本とオ
ランダの作家十二人が制作
し、インスタレーション、
パフォーマンス、シンポジ
ウムを行う。

高速度でデジタル化され
たコミュニケーションに統
御されてしまった現代人
は、恩恵とともに自分の体
をどこかに置き忘れていま
いか。認識し、知覚する体
とは何であるかとの問い直
しと再構築をテーマに、テ
クノロジーアートといった
最先端の領域で活躍する作

家が参加する。
オランダでは昨年十月に
旧織物工場で開催され、高
い評価を受けているとい
う。写真①はフェリック・
ヘス作。

（ライター・両角明美）

主催ⅡICA EYE国際現
代美術交流展実行委員会
（酒井信一代表） ☎03
・3861・2581番
◆会場Ⅱ東京都港区赤坂
4の1の26 ☎03・35
89・1182番 ◆開館
Ⅱ午前11時～午後7時 ◆
最寄り駅Ⅱ地下鉄赤坂見
附から青山通り方向へ徒
歩3分

日本・オランダ現代美術交流展を見にいくところ